

熊坂

神遊

第8回公演

Kamiasobi
the 8th Stage
"KUMASAKA"

「能」初めての方、
歓迎いたします。

初めて「能」をご覧になる方にも、わかりやすく、楽しく能に接して頂きたいと考え、今年に入って2度目の神遊ワークショップを開催致します。今回の『熊坂』は、スローなイメージの能の動きと相反する、大立廻りをお目かけます。

若手能楽師が自ら企画し、作成したテキストをご来場の方全員にご用意いたします。当日はぜひ、手ぶらでお出掛けください。

もっとわかる能楽講座

徹底解剖！ 能『熊坂』

第一部

I 「熊坂」とは

演者がストーリーをわかりやすく解説いたします。みどころをここでチェックしてください。

II 「囃子の魅力」

熊坂に用いる楽曲、演奏の一部を取り上げ、お囃子の効果を演者が説明致します。

III 「装束を着る」

通常は楽屋で行う能装束と能面の着付の一部を、舞台上でご覧にいたします。大盗賊・熊坂長範のいでたちを紹介致します。

第二部

能『熊坂』を観る

[あらすじ]

美濃国赤坂宿（岐阜県）、ここは源平の昔、京の鞍馬山から抜け出して、金売吉次とともに、奥州 藤原秀衡のもとへと落ち延びた牛若丸が通ったところ。一行の財宝を狙った大盗賊熊坂長範は、武芸に秀でた少年牛若丸のために多くの手下を失い、また自らもその命を落とした。大長刀の名手熊坂長範と牛若丸の決闘の様子を能らしいストーリー展開と激しい立廻りで表現いたします。

前シテ 所の備
後シテ 熊坂長範の霊

観世喜正

ワキ 旅の備

村瀬 提

アイ 赤坂の音

山本則重

笛

一噌隆之

小鼓

宮増新一郎

大鼓

柿原弘和

太鼓

観世元伯

後見

遠藤喜久

後見

鈴木啓吾

地頭

遠藤和久

地謡

奥川恒治

地謡

古川 充

地謡

佐久間二郎

地謡

小島英明

地謡

長山耕三

地謡



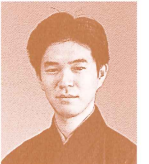
一噌隆之



観世元伯



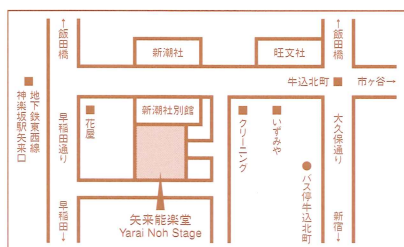
柿原弘和



宮増新一郎



観世喜正



平成11年11月13日(土) 於: 矢来能楽堂

◆第1回目 開場12:15 / 開演13:00 ◆第2回目 開場16:15 / 開演17:00(2回とも内容は同じ)

矢来能楽堂
東京都新宿区矢来町60
地下鉄東西線神楽坂下車
(矢来口より徒歩三分)
03-3268-7311

正面指定席 4500円 / 脇・中正面自由席 3500円

一般前売り発売日: 9月20日(月)

チケットお申込み : 神遊 03-5227-1830 / チケットぴあ 03-5237-9988

お問い合わせ : 神遊 03-5227-1830

